

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ブロッサムジュニア柏崎教室				公表日	R8年 4月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%		・マンツーマン対応の子がいるので、個別対応の子が同じ日に数名いると手が足りないと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		・ひまわりから玄関が丸見えで活動に集中できないことがあるので、改善が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	・必要に応じてアンケートを実施し、保護者の声を聞き改善に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20%	80%		・外部評価は行っていないと思う。 ・より良い業務を進めていく為に総務と相談して改善を図っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表にされているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		・標準化されたツールを使用していない。 ・職員で共通したツールを使用してアセスメントしていきます。また、職員の専門性を活かし、アセスメントに反映されるようにします。
	16	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・職員間で意見を出し合い計画している。	

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	20%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成し、支援が行われているか。	80%	20%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・毎日必ず反省会を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		・長期休暇等で時間がとれず適切な見直しができていることがあったので、前もって早めに見直しを行うようにする。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	80%	20%			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		・もう少し情報共有したい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%		・共有した内容を全職員にもフィードバックしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、必要に応じてそれまでの支援内容の情報を提供しているか。	60%	40%		・移行するご利用者がまだいないため、今後に備えて支援内容の情報を提供できる体制を整えていく。
	31	管理者・児童発達支援管理責任者が地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設け、職員間で情報を共有しているか。	80%	20%		・共有した内容を全職員にもフィードバックしていく。
	32	地域の他のこどもと活動や交流する機会があるか。	20%	80%		・地域の方々との交流がほほないため、取り入れていけたら良いと思う。なかなか難しいが、検討は必要。
	33	担当者が（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・HUGやLINE、お迎え時に直接利用時の様子や状況を伝え共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40%	60%		
	36	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画（個別支援計画）の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・親子活動を通して交流する機会を設けている。親子イベント時には、保護者だけで茶話会のように交流する時間を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	80%	20%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		・インスタグラムの更新頻度が下がっているため、定期的に更新する必要がある。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・視覚支援や理解しやすい会話方法を用いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する、地域のイベントに参加する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		・避難訓練は定期的に行っている。しかし、実際の避難場所まで避難したことがないので訓練が必要である。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	80%	20%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	60%	40%		・医師の指示書ではなく、保護者からの情報のみで対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		・安全計画を見直したり、確認・周知する機会を設ける。 ・定期的に訓練を行う。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	80%	20%		・保護者様への周知が十分ではないので、面談等で説明していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・内容を皆で共有し、次への対応につなげている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	80%	20%		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）に記載しているか。	60%	40%		・個別支援計画には記載していないため、記載する。	